



公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：菅原 進 編集人：後藤 晶一

第4回 定例会 代表質問

さらなる防災力の強化、福祉の充実を!

12月5日、公明党川崎市議会議員団を代表して、かわの忠正議員が質問に立ち、「防災力の強化」、「子育て支援策の充実」、「高齢者対策」など31項目にわたり川崎市の取り組みをたどりました。ここでは、代表的な項目を紹介します。



代表質問に立つ かわの 忠正 議員

防災対策の強化を図れ!

避難所となる体育館や、川崎臨海部の防災強化策など防災力の強化について質問。

総務局長は石油コンビナートの減災対策について「今年度末を目途に(仮称)川崎市臨海部防災計画策定に取り組む」、教育長は「通学路の安全対策は平成25年度中に改善。

体育館の天井落下防止対策は平成27年度完了を目指す」。建設緑政局長は「全ての緊急輸送路における地中の空洞調査についてレーダー探査技術を活用し実施する」。

港湾局長は「臨海地帯の液状化対策は今年度内に状況を把握し速やかに対応する」と答弁。



©NEW KOMEI TO

子育て支援策の拡充を!

「子ども子育て関連3法」に関連して、保育料等の負担軽減と、政策決定過程から子育て当事者を参加させるよう主張。また、保育所待機児童解消策には専門相談員を配置するなど、体制強化を求めました。

子ども本部長からは保育料等の負担軽減策について「一定額を軽

減する方策などを検討し、幼稚園就園補助金は子育て支援策全体の中で考慮する」「子育て当事者の参加は子育て会議へ参画できる仕組みを考え、待機児童解消は区役所窓口での体制づくりを強化する」との回答がありました。



©NEW KOMEI TO

高齢者対策を推進へ!

集合住宅での高齢者孤立化防止策、特養ホーム待機解消策などを取り上げ、更にグループホーム等の利用料負担軽減を求めました。

健康福祉局長は「孤立化防止策は地域支え合いマップ作り、ITを活用した見守り活動、買い物支援などの仕組みづくりを平成25年度までに行う」とし、特養ホーム待機解消策は「新たに12か所1100床程度を整備する。グループホーム等の利用料は、負担軽減も含めて介護基盤の在り方について検討する」と答弁しました。

市営住宅へ若年層の入居促進!

市営住宅の入居者高齢化対策として、若年層の入居促進策を求めました。

まちづくり局長は「平成23年12月から40才未満の若年者限定の優先区分を設定し、対象団地の拡大や小学校就学前の子どもがいる世帯の当選確率を高めてきた。今回、条例を改正し、中学校卒業前の子どもがいる世帯へと拡大した」と答弁しました。

いちばん近くで、動く、働く、

南武線「橋上駅舎化で利便性向上へ!」

市は、稲田堤駅、中野島駅、宿河原駅、久地駅、津田山駅の5駅について、橋上駅舎化により踏切を横断せずに駅にアクセスできる整備計画を発表しました。

公明党は、稲田堤駅、中野島駅について、懸念される安全の面から質問し、「安全性第一でJRと協議を進める」との答弁を得ました。

橋上駅舎化の効果が特に高い津田山駅と稲田堤駅の整備を最優先し、平成29年に完成予定です。



IPS細胞の研究に大きく貢献!



公明党は、早くから臍帯血バンクの設立を推進してきました。

「造血幹細胞移植推進法」が国で成立しましたが、この臍帯血がIPS細胞の研究に大きく貢献することが明らかになりました。

IPS細胞の培養に、臍帯血が大変有効であり、これまで10年経つと廃棄されていた臍帯血が研究に利用できるようになったのです。

この結果、従来は半年間で1000万円が必要とされていた自己細胞からの培養が、国民の95%に適合するIPS細胞の事前ストックが可能に!

せき髄損傷の治療などが大きく前進することになります。

ノーベル賞受賞者の山中教授も絶賛しています。

ごみ収集見直しには市民の声を反映せよ!

市民への丁寧な説明及び集積所周辺の美化対策、回収時間等に対する改善、環境負荷の低減・経費削減について市の取組みをたどりました。

環境局長は ①「今後は高齢者世帯をはじめ市民の方々へ効果が実感できる様な情報発信、また混乱が生じ

ないよう丁寧な説明を実施する」②「環境美化対策についてはネット等を設置するモデル事業を早急に計画し対策を講じる」③「事業効果については、今後40年間で約720億円の経費削減をする」と回答。いずれも公明党の主張が反映されました。



新しいガン診断を推進!

「アミノインデックス・スクリーニング検査」という採血だけでガンリスクを判定できる新しい診断が注目されていること(臨港病院では2万円程度で検査可能)から、市立病院

でも取り組むべきと主張。

ガン拠点病院でもある井田病院への早期導入を約束させました。自覚症状が出る前の早期発見へ向けて大きな前進です。

お知らせ

ミュージアがリニューアル!

東日本大震災で吊り天井金具の強度不足などにより天井が大きく崩落したミュージア川崎シンフォニーホールが、昨年12月24日に復旧後の受け渡しが行われ、現在4月1日のリニューアルオープンに向け音響の検証が行われています。

公明党は、今まで以上に安全対策が施されたホールを今後も市民が安心して利用できるよう、工事の推移が分かる展示を入口広場で行うことを提案しています。

「県有施設の原則全廃」の真意!

Q 「県有施設の原則全廃」等の報道が先行し、市民に不安が。なかには市営住宅も無くなるとの文書も出回るが、市長の見解は?

A 県有施設見直しは、市への負担や市民理解のないまま進めることのないよう県に対応を求める。一方、県営住宅については、県直営方式が有利との県の見解を得ている。市営住宅についても、低額所得者に対し低廉な家賃の住宅を引き続き適切に提供する。

障害者虐待防止センター 10月1日オープン!

虐待によって障がい者の権利や尊厳が脅かされることを防ぐための法律「障がい者虐待防止法」が成立。

障がい者の虐待にかかわる通報や届出、支援などの相談機能を持つ「川崎市障害者虐待通報・届出受付ダイヤル」が設置されました。匿名による通報でも受け付けます。

専用ダイヤル(24時間対応)

☎044-200-0193

※聴覚障害のある方は各区役所保健福祉センターまでファクスで